

スマイル ニュース

SMILE NEWS

236

男女共同参画推進委員会

我が家の幸せは？

お子さんがエプロン姿でお人形をおんぶして歩き回っています。戻ってくると今度は台所に立ってお皿に食べ物を乗せてテーブルで待つお母さんに届けました。

おままごとをする姿、あなたはそのお子さんを女の子とイメージしましたか？それとも男の子とイメージしましたか？ おんぶしていたお子さんは男の子でした。これは実際に子育て支援センターで見たシーンです。将来お父さんになった時は自分から積極的に育児や家事に関わってもらいたいと思いました。

送迎や遊びなど、子育てにお父さんが関わる家庭が増えつつあるのを目にします。それが当たり前になりつつあると感じるこの頃です。

一方で、「もう１人子どもがいるようだ」とつぶやくお母さんがいるのも現実です。奥さんに甘えているのでしょうか？

お母さん（妻）がすべてしてあげることが愛情なのか？お子さんが小さいうちは仕方ないこともあります。子育てのゴールは「自立」です。お母さん、お父さんの姿を見て子ども自身が学んでいくそのお手本を見せていくことが親の役目でもあります。「お母さんがするもの」、「お父さんがすること」という固定観念でサッと動いてしまうことがあります。成人に向かうにつれ「誰がやってもいいこと」「誰でもやってみればできること」もあるのではないのでしょうか？

家庭内の１人に負担が集中していないか？理由もなく不機嫌が続いている家族はいないか？日々幸せを感じて過ごしているのか？お子さんの成長や家族の高齢化に伴い状況が変わっていきます。やらなければならないことも変わっていきます。節目に家事の棚卸しをして、よりよい家庭、社会活動ができるようにこの機会に考えてみませんか？

あなたの家ではどうだったらみんなが幸せを感じられるのでしょうか？

【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会
(総務課総務担当内) ☎ 62-3117